

◆野党と市民の共同で新しい政治の実現を!

日本共産党船橋議員団

ミニにゅうす

日本共産党国会議員団千葉事務所 ☎043-302-2005
 県会議員 丸山 慎一 ☎047-424-6347
 <市議団控室☎436-3030 FAX420-7201>
 市会議員

岩井友子 ☎438-8647 事務所☎429-2160
 中沢 学 ☎447-0557 事務所☎440-7950
 金沢和子 ☎422-5278 中沢 学 ☎493-8140
 坂井洋介 ☎404-2039 松崎さち ☎090-6156-8592
 佐藤重雄 ☎432-9872 渡辺ゆう子 ☎462-7273

セカンドブック事業

対象者の全てに絵本を!

3月議会に「セカンドブック事業」(新規事業)として4百万円の予算案が組まれました。この事業内容は各保健センターでの1歳6か月健康診査受診者に、図書館で行われる「セカンドブックえほんの会」への招待状を配布し、同会終了後に絵本を渡すというものです。予算額4百万円の内訳は全て絵本の購入費であり、3千冊分だということです。

しかし、1歳6か月児健康診査の対象者は例年5600人から5700人で推移しています。これに対して3千冊の絵本というのは少なすぎるのではないのでしょうか。ちなみに、ブックスタート事業(4か月児健康相談時に各保健センターで絵本を渡す事業)においては2015年度の対象者は5561人ですが、配布者数5103人で、9割以上の子ども達が絵本を受け取っています。

「えほんの会」が開かれるのは木曜午前中です。平日は仕事を休めない方も多いのではないのでしょうか。また、図書館が近い方はいいですが、そもそも遠方の方は小さな子どもを連れて図書館に行くのが困難です。

セカンドブック事業もブックスタート事業と同様に、健診時に各保健センターで絵本を渡し、えほんの会の招待券を渡すべきではないか。対象者全員に行き渡るようにするべきではないかと本会議で質しました。市の答弁は「図書館に来てもらうため」とし、見直しは行なわないというものでした。

絵本は比較的安めのもので1冊千円くらいはするものです。1冊2

千円近くの絵本も珍しくはありません。子育て世代からは「子どもに新しい絵本を買ってあげたくてもなかなか手が出ない」という声を聞きます。

貧困と格差が広がる中で、この事業は子ども達に読書の機会を提供すると共に、貧困対策にもなるという期待があります。引き続き改善を求めていきます。

いっしょに歩こう。

脱原発船橋(仮)
 キャンドルウォーク

日時：3月11日(土)
 午後7時～

場所：JR船橋駅南口

日本共産党船橋市議団主催

無料法律相談

3月15日(水)
 4月13日(木)

弁護士が相談を受けます
 労働相談も受けています
 会場：中央公民館
 時間：午後1時～4時
 要予約 ☎436-3030

北部清掃工場・余熱利用施設の整備 効率的かつ効果的に実施されているのか?

4月1日オープン予定で北部清掃工場・余熱利用施設の工事が進んでいます。

この施設的设计・建設及び運営・維持管理については「民間事業者のノウハウ活用により効率的かつ効果的に実施する」としてDBO方式が取られました。建設工事請負契約先は「荏原環境プラント株式会社」で、運営・維持管理業務委託先は「株式会社ふなばしEサービス」です。

新たな北部清掃工場の試運転も始まり、余熱利用施設内部工事もほとんど完成する中、議員の内覧会が実施されましたが施設整備の問題点が見つけれられ、日本共産党は議会で改善を求めました。

新工場には作業員が屋外から使用するトイレが1か所しかなく、

旧工場と比較すると便器が9器も不足しています。さらにゴミを収めた後に手洗いをする場も旧工場には6蛇口が設置されていますが新工場には整備されていません。

現在は旧工場のトイレや手洗い場の使用が可能ですが、4月に入ると解体が始まります。早急な改善を求めたところ「3月下旬までにトイレ、手洗い場とも増設する」との答弁を得ることができました。

余熱利用施設でも欠陥が!

清掃工場から発生する熱エネルギーを利用した、余熱利用施設でも欠陥や不備な点が見られました。

露天風呂の浴槽に下りる一段目の踏み面までが40センチ(階段二

段分)もあり、高齢者が安心して利用できる状況でない事が解り、改善を求めました。「浴槽の上端から一段目の踏み面までを33センチにし、踏み面から浴槽の床面までを37センチに改善する」との答弁がありました。この程度の改善では高齢者にとって「安全で安心できる」改善とは言えません。今後利用者意見把握し、安全対策を求めます。

また、歩行浴プールも「休憩コーナーから眺められる」との意図で整備され、プールの壁も休憩コーナーの壁も素通しの強化ガラスになっています。腰痛や膝、肩の痛みのためリハビリの一部として歩行浴プールやジェットマッサージを利用する高齢者にとって、そのような姿を眺められることは「プライバシーの侵害」とも言えるのではないのでしょうか。歩行浴プールの壁にシール等を貼って半透明に改修することを求めたとこ

ろ、「利用者の意見を聞き判断したい」旨の答弁でした。

公共施設を民間に丸投げするDBO方式

新工場や余熱利用施設の工事における欠陥や不備は設計図書を市職員がしっかりと精査していれば防げた事です。しかし、市のチェック機能は発揮されず、高額な公共施設整備に市は資金を出すだけで、すべて民間まかせ。結局、施設を民間に丸投げするのがDBO方式であることが明らかになりました。

日本共産党はDBO方式を取り入れることにこれまでも反対し「市が自ら施設づくりをし、維持・管理をすべき」と主張してきました。

「DBO方式」とは
 公共が資金調達を行い、設計・建設に加え運営を一括して民間業者に発注する方式